

施策評価シート

評価年度	平成25年度	事業実施年度	平成24年度	施策主管次長名	健康福祉部次長 鈴木 政美
施策番号	68	施策名	安心して子どもを産み、育てられるまち	総合計画掲載頁	146
関係課名	健康推進課、子育て支援課、教育行政課				

1. 施策の概要

施策の目的	対象	対象指標名	単位	H23実績	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
				① 就学前の児童をもつ家族数	件	3,113	3,060	3,120	3,140
意 図	市民、保護者 (児童とその家族)	② 就学前の児童数	人	4,097	4,028	4,100	4,140	4,150	4,180
		③ 小学校児童をもつ家族数	件	3,578	3,777	3,620	3,580	3,540	3,500
		④ 小学校の児童数	人	4,748	4,564	4,363	4,308	4,266	4,220
		成果指標名	① 放課後児童クラブの待機児童数	② 保育園の待機児童数	③ 子育てに関する相談件数	④ 家庭教育学級の参加者数			
意 図		安心して子育てをしよう							

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H23実績	H24計画	H24実績	H25計画	H26見込	H27見込	H28見込
①	放課後児童クラブの待機児童数	人	0	0	0	0	0	0	0
	指標設定の考え方と把握方法	利用者の入所希望に達成しているかとして設定し、利用申込み者数にて把握							
②	保育園の待機児童数	人	0	0	0	0	0	0	0
	指標設定の考え方と把握方法	利用者の入園希望に達成しているかとして設定し、入園申込み者数にて把握							
③	子育てに関する相談件数	件	1,232	1,300	1,679	1,700	1,700	1,700	1,700
	指標設定の考え方と把握方法	悩み等が相談により解消されたかとして設定し、相談記録簿にて把握							
④	家庭教育学級の参加者数	人	1,043	1,650	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100
	指標設定の考え方と把握方法	家庭教育の関心度・必要性を高めるためとして設定し、参加者数にて把握							

3. 施策の評価

項目	評価のコメント	
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	子育てに関する不安や悩みを解消し、健全な子育てに努める。
	行政	・放課後児童クラブや保育園において、家庭にて保育することができない児童の子育て支援を行う。 ・子育てに関する相談、学習機会の提供などの子育て支援事業を推進する。
達成度評価	近隣との比較	・放課後児童クラブの待機児童は、日進市39人、東郷町21人、豊田市と刈谷市と本市は、待機児童はない。 ・保育園の待機児童は、豊田市162人、刈谷市15人、日進市2人、東郷町20人で、本市は「0人」でした。 ・子育て相談件数は、豊田市1,273人、刈谷市1,414件、日進市1,113人、東郷町202件で、本市は近隣に比べ多くの相談があった。
	過去3年間の実績との比較	・放課後児童クラブ及び保育園の待機児童は、過去3年間及び現在ともなかった。 ・子育てに関する相談件数は、過去3年間に比べ612件(57.4%)増加している。 ・家庭教育学級の参加者数は、過去3年間に比べ568件(36.3%)減少している。
現状と課題	◆放課後児童クラブは、現在のところ待機児童はないが、北部小学校など一部の小学校の児童数増加に伴い、クラブで使用する空き教室が不足してくる。また、対象児童が小学校4年生から6年生に平成27年度から拡大を計画している。 ◆保育園の待機児童は現在のところないが、女性の社会進出の増加、育休制度等の充実に伴い職場復帰により、家庭にて保育をすることができない児童数が増加が見込まれる。	
今後の取り組みの方向性および次年度の取り組み	◆今後、児童数の増加により、受け入れるスペースが不足する放課後児童クラブについては、受け入れる建物や部屋について、関係者で協議し確保に努める。 ◆今後は核家族化の進展、母親の就業率の向上に伴い、保育ニーズの増加、多様化が予想されるため、保育園の民間移管を含め、保育事業の充実に努める。	
	(26年度の取り組み) ・放課後児童クラブについては、制度改正に向け検討する。 ・また、保育園については、多様化する保育ニーズに対応するため、萌生保育園の民営化を推進する。	
市民意識	重要度	高い
	満足度	高い
	平成24年度市民アンケート調査による	